

平成30年第7回東大和市議会厚生文教委員会記録

平成30年12月14日（金曜日）

出席委員（7名）

委員長	和地仁美君	副委員長	実川圭子君
委員	上林真佐恵君	委員	関田貢君
委員	中村庄一郎君	委員	中間建二君
委員	木戸岡秀彦君		

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

議会事務局職員（5名）

事務局長	鈴木尚君	事務局次長	並木俊則君
議事係長	尾崎潔君	主任	櫻井直子君
主任	高石健太君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

（1）所管事務調査

日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について

午前 9時33分 開議

○委員長（和地仁美君） ただいまから平成30年第7回東大和市議会厚生文教委員会を開会いたします。

○委員長（和地仁美君） 所管事務調査、日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について、本件を議題に供します。

本件につきましては、正副委員長において作成いたしました所管事務調査報告書（案）を事前に御配付させていただいております。

本日は、調査報告書（案）の項目に沿って順次進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

報告書の案の中の内容について、皆さんで訂正や追加などがございましたら、ぜひ盛り込みたいと思いますので順次御発言いただきたいんですが、報告書のページ数が多いので、2枚目の調査項目の設定の経緯と調査活動の概要と書いてあるページを1ページとして、ページを指定しながら皆さんで内容を確認していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、内容について御意見などございましたらよろしくお願いいたします。

○委員（実川圭子君） 非常に濃密な議論をした結果をこの中でまとめていただいて、本当に委員長には感謝しています。ありがとうございました。

気づいた点につきましては、5ページの子ども家庭支援センターの部分なんですけど、子ども家庭支援センターの文章がありまして、下の段のところで今後についてのことがまとめられているんですが、私もあのときの議論というか発言をまだ確かめてないので、こういった形であったのかもしれないですけども、私の認識としては先駆型という形。それは今までの表現で、後は子育て世代の包括支援センターのほうに統合されていくようなイメージだったと思うのですが、ここのところがこういう形だったのか、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

それから、7ページの市内関連施設等の視察についての最初のところなんですけど、こどもマルシェというのはママ・マルシェというふうに呼んでいたと思うんですけども、このときはこどもマルシェでしたか……（発言する者あり）ああ、そうでしたか。済みません。じゃ、私の勘違いです。

あとのところは非常によくまとめていただいているなと思いました。

調査を終えてのところも……

○委員長（和地仁美君） ちょっと後でやっていきます。

○委員（実川圭子君） じゃ、前半のほうはそのあたりです。

以上です。

○委員長（和地仁美君） 御指摘ありがとうございます。今御指摘いただきました最初の点の5ページの子ども家庭支援センターの件ですけども、議事録のほうを確認して、所管する市長部局のほうからの説明の内容をまとめたものですけども、表現のほうでよりわかりやすく正確なものにしたほうがいいのかということで皆さん御了解いただけるのであれば、再度、正副委員長のほうで確認をして、ここのところでは、今後も引き続き先駆型＝東京都の標準型としてという形であらわしていますけれども、そこについてより正確な表現っていう形を正副委員長のほうで確認して訂正をさせていただこうかなというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） では、そのようにさせていただきます。

ほかにございますでしょうか。

○委員（実川圭子君） 済みません。あともう一つ言い忘れたんですが、今の5ページのもう一つ下のところの子育て短期支援事業（子どもショートステイ事業）なんですが、子どもショートステイ事業と一時預かりというのは私は違うと思うのですが。ショートステイ事業というのは、支援員の家庭に預けるというような形で今やっていると思うんですけども、それと一時預かりというのはまた別なんだと思うので、項目を分けたほうがいいのかと思います。

○委員長（和地仁美君） 今の点も確認して、訂正させていただこうと思います。ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

○委員（中間建二君） 報告書につきましては、詳細に取りまとめをいただきましてありがとうございます。

私のほうとしては、内容については委員長のほうで委員会の議事録等、確認をしていただいた中で、市側の説明とまた質疑等があった内容について網羅をしていただいているというふうに思っておりますので、内容等については特に意見はございません。そういう中で、特定事件調査として所管事務調査をしていく中で、委員会として今後の方向性等について委員の間で議論を重ねて、何らかの方向性が見出せることが望ましいかと思っておりますので、最後の、調査を終え、今後の目指すべき方向性などというところについての議論をもう少しこれからもやるということで御説明がありましたので、そのように進められればいいのかと思いますし、また今記載していただいている内容についても、私が発言した内容等についても酌み取っていただいているというふうに思っておりますので、ありがたいと思っております。

そういう中で、一番最後の16ページのところで、調査を終え、今後の目指すべき方向性などというところが出ておりますが、例えば1点目の日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題について云々という中で、まだまだ課題が山積している状況が見られたという表記がありますけれども、じゃ何が課題なのかというところをもう少し委員の中で議論をし、またそこに向けてどういう方向性が望ましいのかとか、もう少し言いますと、日本一子育てしやすいまちづくりということで進んでおりますが、何をどうすれば日本一になるのかというところも、我々も市議会の中で市にその考え方を求めることはありますけれども、我々議員がそれぞれがどういうイメージを持っているのか。どういうようなまちづくりを進めれば東大和市が本当に日本一になるのかというようなこともそれぞれのお考えを述べ合う中で、こういう施策をやっていくべきじゃないかというところの方向性を見出ししていければ、今回の所管事務調査の目的に近づくのではないかなというふうに思っておりますので、きょうどこまでやるかということもありますけれども、3月に向けてもう少し議論を重ねる中で、そのようなことも報告書の中に盛り込めれば望ましいのではないかなというふうに思います。

以上です。

○委員長（和地仁美君） ありがとうございます。

今御提案いただいた点については、この調査というものは現実を確認するという作業になりますけれども、現実を確認して、先行している他自治体、行けたところには限りがありますが、興味深いところを選んで行ったという中で学ばせていただいたものと比較してというような部分もあると思います。そういったところを踏まえて、今、中間委員から御指摘いただいた、調査を終えての感想と言うと、調査というものと余り合わないですので、比較したり現実的に事業であったり制度であったりというようなもので取り入れられるよう

なものがあるのではないか、もしくはこう改善できるのではないだろうかというような提言、この調査等を踏まえた上での提言という形で皆さんにここに盛り込んだほうが良いという御意見が委員全員で一致できれば、そこはぜひ盛り込んでいきたいと思っておりますので、きょうのこの委員会の中でもぜひ御発言いただきたいですし、そこでまだ不足しているようであれば、3月に向けてまた取り組んでいくという形もとれると思えますので。今、内容については、実川委員のほうから幾つか確認事項がありました、そのほかもしないようでしたら、この調査を終えての委員会としての意見とか提言というものをまとめていくような形に進めさせていただこうと思うんですが、そちらの内容に移行してもよろしいですか。ほかに内容で何か訂正すべきやお気づきの点がなければ、早速、こちらの最後の項目のほうに取りかかりたいと思っておりますが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） では、最後の一番委員会としてこれを調査した結果というところについて御意見などございます方はぜひお願いいたします。

○委員（上林真佐恵君） 今も御意見あったところで、これだけ見ると、さまざまところにたくさん視察に行かせていただいて感謝するとともに、これだけのものをまとめていただいて、委員長には本当にありがとうございますと感謝を述べたいんですけども、最後の方向性のところはこれから、きょうとあとのくらい時間がとれるかわからないんですけども、皆さんで意見出して、議論もして、一致できるところについては、そういう方向性が1つ見出せれば、それはそれですごく素晴らしいことだと思うので、そういうことを追求するというところもあると思うし、日本一にするための具体的な方策というところになると、全く反対の意見になってしまう部分もちろんあると思うし、こういう意見もあるしこういう意見もあるというところ、完全に一致しない部分もあると思うので、一致できるところは追求する、そうならない部分については、これから個人の議員の活動の中で市に提言していくということもできると思うので、まとまらないところは意見としてこの中に今のような形で盛り込んでいければいいんじゃないかなというふうに思います。

以上です。

○委員長（和地仁美君） ほかにございますか。

○委員（木戸岡秀彦君） この所管事務調査の報告書に関しては、本当に感謝しております。これだけコンパクトにまとめていただいて、わかりやすくありがとうございます。量が多い部分でのコンパクトにまとめていただいてありがとうございます。

さまざま課題が出ていると思うんです。では何が課題なのかという具体的な项目的な部分だとか、日本一子育てしやすいまちに向けて、東大和市として一番の課題は何なのか、市民が求めている課題は何なのかって具体的にしていかないと、これだけさまざまな調査をしながら、すごくいいことだと思うんですけども、絞った上で進めていくということが大事じゃないかなということを感じます。

所管事務調査でさまざま行ったところで感動感動の連続だったんですけども、東大和市でも取り入れられるべきものが幾つかあると私自身も感じておりますので、まずは東大和市で一番の課題は何なのかというものをある程度深掘りしながら進めていってもいいんじゃないかなとは思っています。

○委員長（和地仁美君） ありがとうございます。

ほかにございますか。

○委員（中間建二君） 最後の今後の目指すべき方向性などについてなんですけれども、ここに書いていただいているように、広い意味での子育て施策の充実という視点で言うこともできると思うんですが、例えば子育て

ハンドブックに基づいて議論を重ねてきた中で委員長が立て分けたように、就学前の子育て支援についてどうか、就学後についてどうか、また学校教育についてどうかというような形で改めて意見、議論を確認をしていくべきなのか、それとも、全体的な広い意味での最後の取りまとめというところで意見を述べていくべきなのかというところが、もういよいよ最後の取りまとめのところなので、そのあたり正副のイメージがどういうふうに感じていらっしゃるのか。私の受けとめは、調査を終え、今後の目指すべき方向性などについてまでのところは、ずっとこの委員会の中でまさに議論をしてきた、または市側から説明いただいた内容を委員長のほうでうまくまとめていただいたというふうに思っているんですけども、今度、そこから政策提言という意味で委員会として何か形にしていくといったときに、一つ一つの個別の課題についての考え方を整理していくのか、それとも、そこを踏まえて最後の、調査を終え、今後の目指すべき方向性ということで、総論としての方向性をここでみんなで一致していくべきなのか、このあたりは正副のお考えがまとまっていればどうなのかなと思ったんですけども。

○委員長（和地仁美君） 暫時休憩いたします。

午前 9時49分 休憩

午前 9時57分 開議

○委員長（和地仁美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、今、皆さんのほうから御意見いただきました。調査をした上で、今後の東大和市が本当に日本一子育てしやすいまちを目指す上で、調査をしたからこそ提言ができる項目というものがある場合は、こちらに明記していったほうが良いという形で今後進めたいと思いますけれども、その方向性には御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） また、先ほど中間委員のほうからもあったと思いますが、子育て関連に幅広く今回調査をしましたので、調査をしたときに、いわゆるお子さんの年齢であったりステージであったり場面であったりという形で項目を区切って調査をしてきましたので、報告書のほうもそのようにまとめさせていただきました。調査をした概要がこの報告書に載っておりますので、その一つ一つの項目ごとに委員会のほうで東大和市がよかったと改めて気づかされた点、それからもう少しこういったところを改善するとよりよくなるという形で、他の先進市などや調査をしたことでわかった点を幾つかポイントとして、委員会の中で一致が見られたものは明記をしていくという形をとりたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） そうしましたら、今後の進め方なんですけれども、当委員会では、所管事務調査の報告を3月の定例会の中で行う予定でおりますので、まだ時間がございます。ですので、今の方向性で最後の調査の取りまとめという形を一度行いたいと思っております。この進め方については委員会の中で決定したことです。皆さん御準備もあると思いますので、今御指摘いただいた内容の訂正については正副のほうで行いますが、今後の目指すべき方向性については、皆さんのほうでもう一度、調査項目を確認していただいて、載せたほうが良いと思われるものを御準備いただいて、その上で議論を進めたほうがよいのではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） それでは、報告書（案）の訂正の内容については先ほど出た意見を踏まえまして、あと誤字脱字などの修正については正副委員長のほうにお任せいただきたいと思います。

○委員（中間建二君） 先ほど関田貢委員のほうから発言もありましたけれども、委員長のほうでまとめていただいた報告書の案の中で、①から④まで項目を立てて、5番目にその他の子育て関連施設の先進市の視察についてということで項目立てし、最後に調査を終えということになっておりますので、この6点について、それぞれの項目の中で各委員の間で目指すべき方向性なり課題なりの提案なり提言なりが出せるようであれば、次回までにそれを準備し、この委員会の中で発言をしていくということによろしいのでしょうか。

○委員長（和地仁美君） まさしくそのとおりなんですけど、1点、今私が思った点は、④までが調査をしたことで、調査の内容に関連したような、もしくは子育てというくくりで近いところで先進市を見ておりますので、視察を受けて、1か2か3か4に反映できるものというのは、その項目に入れたほうがよろしいかと思えます。先進市については、見たことをそのまま載せておりますので、取り入れたほうがいいのかと思ったり、まだちょっと難しいなと思ったり、それぞれあると思えますので、先進市を受けてのことは各1から4までの中に反映させていこうと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） なおかつ、全体については、もう全体ですので、皆さんの意見を反映させた中で取りまとめたいと思います。

まとめますと、1から4までそれぞれの内容への提言、そして全体に対する提言という形の5点になると思いますので、よろしくお願いいたします。

そのほかに、調査報告書（案）全体もしくは今後の進め方について御意見がございますか。大丈夫でしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） お諮りいたします。

本日の所管事務調査、日本一子育てしやすいまちづくりに向けての現状と課題についてにつきましては、この程度に本日はとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（和地仁美君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

そうしましたら、本日皆様からいただきました調査内容についてと誤字脱字の訂正については、改めて調査報告書（案2）というような形で皆さんに御配付できるようにしますので、そちらの内容を確認いただいて、今後提言としてこちらに明記していったほうが良いことについては、その2つ目の案の資料をもとに皆さんで議論を重ねていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（和地仁美君） これをもって平成30年第7回東大和市議会厚生文教委員会を散会いたします。

午前10時 4分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 和 地 仁 美